

Do CL Column

介護現場でCLを活かす

ありがとうは魔法のことば

一介護福祉士 黒木 幹枝



pixta.jp - 3234857

これまでに介護の仕事は施設、在宅、通所と30年間携わってきました。高齢者のデイサービスが今年二月末で閉鎖になり、現在は母体の人工透析病院・病棟で介護総括責任者をしています。患者さんや若いスタッフ、ベテランとの交流の中で、CLを活かして対応する場面があると、CLを学んでいて良かったと元気が出ます。ときどき、スタッフが相談にやってきます。

先日、ベテランナースのKさんがきて、「主任ナースのM君が勤務表のことで発した言葉に若いスタッフが傷ついた」と話しました。彼女はM君が新人以前から勤務しておりお局さんの存在です。今でもM君はKさんから注意されることがあって、少々煙たい相手のようです。今回も彼女から厳しく非難されたようで、若いスタッフとは数日言葉をかわしていない状態でした。ちょうどM君からも「スタッフとうまくコミュニケーションがとれない」と相談がありました。「どうしたらベテランナースが文句を言わないか。どうしたら、若いスタッフが自分の思うように動いてくれるか」と悩んでいたそうです。そこで、まず、「今のままでいいんだよ」のCL絵本を読んでもらい、「自分がコントロールできることとできないこと」、「自分中心ではない、おかげさまがあること」などを話しました。


しばらくしてM君は、失礼な言葉を与えた若いナースに謝りました。彼女も自分が感情的に騒いだことを申し訳ないと言って、二人はまた言葉を交わすようになりました。

他のスタッフからはM君が主任ナースになってから「命令ばかりする」「思いやりのない言葉が多い」「威圧的だ」「ありがとうを聞いたことがない」などの声を聞きました。

「スタッフがM君に指示された仕事をしたり、報告に来たとき、「どうもどうも」とか「すまないねえ」と言っているようだけど「ありがとう」だよ」と彼に言うと、「なかなか言えませんよ」との返事です。「感謝の気持ちはなくていいからね。ありがとうを言うほうがだいじ!」と伝えると「えっ、なくていいんですか?」と驚きました。「いいよー。言うだけ。やってみてー」と私。

ほどなくしてM君がやってきました。「どうだった?」と尋ねると、「言う前はすごく悩んだのに、「ごめんなさい」も「ありがとう」も簡単なことでした。言ったらスッキリした」と言って、久しぶりの笑顔を見せてくれました。ベテランナースのKさんにも「仕事を教えていただいてありがとうございます」と言ったそうです。彼女はとても嬉しそうでした。

本当に「ありがとう」は魔法のことばです。(宮崎県延岡市CLインストラクター)

 [目次へ戻る](#)